平成３０年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　No.１

H30. 4. 2　「ＬＣＣから春の新作！」

ライフクリエイトクラブ（通称ＬＣＣ）の皆さんが、校長室に「春の新作」を届けてくれました。ＬＣＣは「テーマ」を持ちながら調理実習を行う先進的な家庭科クラブです。

昨年度は「アレルギーを持つ子どもたちが美味しく食べられるお菓子づくり」をテーマに「高野豆腐を使用したマドレーヌ」を制作し好評を得ました。

卵、牛乳、小麦粉など、お菓子には必須の材料を全く使用せず、お菓子としての見た目と味覚を追求し完成させました。

今年度の新作は、「食感の異なる三色団子と赤飯」のコラボです。見た目にも鮮やかなで、赤飯のピンクと相まって一段と春らしさを感じさせます。

現在、部員は１、２年次生合わせて３０名以上。人気のある部活動だけに、新入生もまた沢山加入することでしょう。調理室からの賑やかで楽しそうな笑い声がまた一段と大きくなりそうです。

All for one, and one for all.　No.２

H29. 4.9　「着任式・始業式」

始業式に先立ち、新たに着任された１２名の教職員の紹介を行いました。昨年度に引き続き、前任校でも数々の実績を持つ先生方を迎えることができ、組織としての厚みが一層増しました。

単位制の特色である選択科目を数多く配した教育課程により、教員数も一般の学校に比べかなり多く配置されています。習熟度や少人数指導、ＴＴといった授業形態も活かしながら、個々へのきめ細やかな学習指導の充実が可能となりました。また、養護教諭を今年度は２名配置し、生徒の健康管理や怪我等の迅速な対応にも万全を期していきます。

赴任された先生方には、一日も早く校風に慣れていただき、各分野において存分に力を発揮してくれるものと大いに期待しています。

お一人お一人から自己紹介をいただいた後、生徒会長の３年次生 関根 唯さんが歓迎の言葉を述べました。生徒会長さんの心温まる言葉に、着任された先生方もまた一段とやる気を増したことでしょう。

この素晴らしい生徒たちと一緒にベストを尽くすことを誓い合う着任式となりました。

歓迎の挨拶をする関根生徒会長さん

All for one, and one for all.　No.３

H29. 4. 9　「入学式」

心地よい春の日差しの中「第３回入学式」を挙行し、新たに２７１名の希望に満ち溢れる新入生を迎えました。入学生の皆さん、保護者に皆様、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同心より歓迎申し上げます。

ＰＴＡ会長の堀江 裕樹様と同窓会長の落合 秀樹様からは、心温まるご祝辞を頂戴しました。また、学校評議員の利根川 一朗様、ＰＴＡ副会長の半田 由美子様、工藤 瀧也様にもご臨席を賜り、盛大に入学式を執り行うことができましたことに、この場をお借りし心よりお礼申し上げます。

今年度は旭川永嶺高校が開校３年目となり、「単位制普通科」の完成を迎える特別な年度でもあります。

新入生には、校風にいち早く慣れてもらい、先輩方とともに新たな創造に向けて主体的に活動してくれることを期待しています。

新入生の宣誓では、宮嶋 凌久君が今後の抱負を述べてくれました。この生徒たちとともに、この学校をさらに発展させていきます。

単位制では、「学年」ではなく「年次」という使い方をします。この年次は、主任と７名の担任、同じく７名の副担任、４名の年次付きで担当します。あらゆる側面からお子様をサポートしています。

１年次担任団

新入生代表 宮嶋 凌久君

All for one, and one for all.　No.４

＊エイリョウ・アラカルト 「登校指導」

生徒の安全な登校を図る啓発指導と高校生らしい身だしなみを確認するための「玄関指導」を始めました。社会性を身につける上で、基本的生活習慣の確立はどの年次においても重要なことです。特に新年度は自転車通学も一気に増えることから、乗車マナーにも注意を促しています。

この取組にはもう一つ、生徒とのコミュニケーションを図るねらいもあります。表情を観察しながら新年度に向けた不安を少しでも取り除き、一人一人の心に寄り添いながらサポートをしていきます。そのため全ての年次の先生方が交代制で校門に立ちます。

時間を守ること、身だしなみを整えること、自転車を正しく乗ることなど、「当たり前のことが当たり前にできる」高校生であって欲しいと思います。

安心安全な環境のもとで、個々の持つ能力を精一杯発揮してくれることを期待しています。

All for one, and one for all.　No.５

H29. 4.10　「対面式」

在校生が新入生を歓迎する「対面式」が、生徒会主催で７校時目に行われました。このように生徒が主体となって行う行事や活動は沢山あります。

本校は今年度開校３年目を迎える新設校です。これから形づけられていく伝統や校風は、教職員だけで作るものではありません。自ら考え、自ら行動することはもちろんですが、先輩と後輩が協力し、心一つに新しいものを創造していくことが極めて重要です。そのためにも、新入生にはいち早く学校に慣れ、先輩方を模範に、何事にも積極的に活動してくれることを期待しています。

恒例の「○×クイズ」では、全校生徒が一つになって難問の解答に一喜一憂していました。入学式での緊張感も少しずつほぐれてきたようです。

最後は新入生を代表し、髙橋 海渡 君が、「早く学校に慣れ、先輩方とともに高校生活を有意義に過ごしたいきたい」と力強く応えてくれました。頼もしい一年次諸君の活躍がこれから楽しみです！

All for one, and one for all.　No.６

H29. 4.11　「Ｗｅｌｃｏｍｅコンサート」

数多くの全国大会出場の実績を持つ「吹奏楽局」が、新入生と新たに着任した先生方への歓迎の意を込め、「Ｗｅｌｃｏｍｅコンサート」を昼休みに開催しました。

生徒玄関前の生徒ホールや２回のロビーには、演奏前から新入生はじめ２、３年次の生徒も沢山集まっていました。

局員数が多いこともありますが、心地よいサウンドが校内に響き渡ります。よく耳にする名曲からオリジナル曲に至るまで、いつ聞いても素晴らしい演奏でした。

新たに着任された先生方も余韻に浸りながら、感動の言葉を繰り返していました。

All for one, and one for all.　No.７

H29. 4.11　「生徒会オリエンテーション」

生徒会活動を紹介するため、生徒会執行部主催の「オリエンテーション」が午後から行われました。高校生活における勉学はもちろん重要ですが、自らの興味関心を活かし、

その能力を部活動等を通して伸長することや、生徒会執行部で主体的に学校運営に関わることも大きな社会経験となります。

冒頭に生徒会執行部から生徒会組織の概要と役割について説明がありました。「高校生だからこそできること、あるいは今しかできないこと」など、若い時の経験は人間性を豊かにし、人生の貯蓄となります。やってみたいことが見つかった時は是非チャレンジしてみてください。

また、本校には部活動の時間を使って学習をしたいと言う人のために、「ＥＬＣ（Ｅｉｒｙｏ Ｌａｒｎｉｎｇ Ｃｌｕｂ）」というユニークな部や「ＬＣＣ（ライフ・クリエイト・クラブ）」、「国際クラブ」、「Ｅ－Ｔｅｃ」など他校では珍しい部活動もあります。ちなみに「新聞局」は今年度当番校を受け持ちます。一人でも多くの新入生が加入してくれると嬉しいです。（学校記事を読みたがっている人が沢山います！）

高校生活をより有意義に、そして彩りあるものにするためにも、人との出会いを大切にし、様々な経験を通して社会性や協調性を身につけて欲しいと思います。

All for one, and one for all.　No.８

## H29. 4.13　「身体測定」

今日は朝から全ての年次で「身体測定」が行われました。保健室からの広報誌「健康のあんてな」（ＨＰ参照）にも掲載されていますが、社会に求められる力の一つに「自己管理能力」があります。組織的な活動には、日常の健康管理は欠かせない要素です。

さて、健康を保つ秘訣に「朝ごはん」があります。特に成長期にある高校生にとっては朝ごはんを食べるか否かで、その後の人生に大きな差異が生じると言われています。「朝ごはん」には次のような効能があるようです。

①脳や身体のエネルギー補給・・・午前中の授業での理解度が大幅にアップします。
②体温が上がり、基礎代謝アップ・・・朝からの身体のだるさなどを解消します。
③便秘を防ぐ・・・胃が動けば、順番に小腸・大腸の動きが活発になります。
④体内リズムが整う・・・一日の活動の始まりを身体に教え、バランスを整えます。
⑤集中力アップ・・・脳に栄養が回ると集中力が増し、イライラをなくします。
⑥生活習慣病の予防・・・若い人に増えてきている生活習慣病を予防します。

「朝ごはん」を食べるだけで随分と違うものなんですね。ちょっと早起きするだけで食事を摂る時間は生み出せます。これだけの効能を活かさない手はありませんよ！

『はじめは人が習慣を作り、それから習慣が人を作る（ドライデン）』

All for one, and one for all.　No.９

**＊エイリョウ・アラカルト　「スタディーサポート」**

１年次生が１６日に「スタディーサポート」を実施しました。入学後、初めての試験問題に緊張もしたことでしょう。この試験は、学習習慣や学習内容の理解度、弱点科目などを自ら知るための大切なテストです。このスタディーサポートの結果をもとに、これからの「学習計画」を立てていきます。

１年次生にとって、今が「スタートライン」です。目標を高く掲げ、計画的に学習すれば、必ず希望の進路を実現することができます。やりっ放しが一番いけません。何事も最初が肝腎です！

学習習慣の確立で最も大切なことは、計画性と確実な実行です。まだまだと思っているうちに時間は刻々と過ぎていきます。気持ちにゆとりがあるうちに学習習慣をしっかり確立させ、弱点科目を克服してください。

今から確実に歩み続けていけば、無限の可能性が開けていきます。頑張りましょう！

All for one, and one for all.　No.10

**＊エイリョウ・アラカルト　「韓国（水原市）研修報告会」**

１２日にフィール旭川で開かれた「水原市青少年交流事業帰国報告会」に、２年次生の谷村 礼菜さんと遊佐 七海さんが参加しました。

韓国での学校訪問等を通じて同世代と友好を深められたこと、韓国の文化を肌で感じられたこと、水原華城など世界遺産の史跡を見学できたことなど、５日間の研修は大変実り多いものだったようです。

二人の報告会は本校でも予定されており、多くの生徒がこうした機会を活用し国際的視野を拡げて欲しいと思います。

All for one, and one for all.　No.11

**＊エイリョウ・アラカルト　「～みんなでまちづくり～」**

１４日に開催された旭川青年会議所主催の「ぼくらのまちづくり～みんなのまちづくり～」に、本校からも４名の生徒が参加しました。

この催しは、当会議所をはじめ、地域で活動する青少年コミュニティー、市内の大学生や高校生が一堂に会し、情報交換等を通して、一緒に「住みやすいまちづくり」を創造していこうというものです。

総勢８０名の皆さんが旭川市民活動交流センターに集い、地域に関わ

る様々な活動報告や意見交換、グループ討議による新たな企画づくりに取り組みました。

こうした郷土におけるより良いまちづくりへの第一歩が、やがて未来の日本の創造に繋がる斬新な発想へと発展していくのでしょう

若い皆さんの無限の可能性を信じ、精一杯応援していきたいものです。

All for one, and one for all. №12

H29. 4.19 「スマートフォン・ケータイ安全教室」

小・中学生時から使用経験を持つ生徒が増えている「ケータイ・スマートフォン」、その数に比例するかのように、ネットに関するトラブルも全国的に増加現象にあります。本校でも入学と同時に使用するようになった生徒も含め、多くの生徒が日常的に使用しているようです。

スマートフォンがあれば何でも用が足りてしまう時代、使い方によっては大変便利な道具ではありますが、その分様々な障害や危険も伴います。

依存症、生活習慣の乱れ、集中力の低下、コミュニケーション能力の低下、寝不足、視力低下などの「健康障害」に加え、いじめ、プライバシーの流出、架空請求詐欺、、不適切な出会い系サイトなど「ネットに関する被害」も心配されます。

今回は、「ケータイ・スマートフォンを介したインターネットの安全安心な使い方」について、ＮＥＣソリューションイノベータ株式会社から講師をお招きし、１年次生を対象に講演会を実施しました。

パワーポイントやビデオ等を交えながらお話いただいた事象は、決して他人事ではなく、いつ何時、我が身に降りかかってもおかしくないことばかりでした。

本校では学校のルールに従って使用するように指導していますが、ご家庭においても話し合いによる「ルールづくり」など、適切な対応が必要です。

今後大きなトラブルに巻き込まれないためにも、注意だけで終わることなく、使用者自身が「自制」するような働きかけや環境づくりが大切だと思います。

終わりに１年次の小原 清法君が生徒を代表し謝辞を述べ、適切な使い方を誓ってくれました。

All for one, and one for all. №13

H29. 4.19 「自転車点検」

１９・２０両日にわたり「自転車点検」を実施しました。担当教諭と生活委員が協力しながら１台１台について、タイヤ・ブレーキ・ライト・許可ステッカーなどを点検していきます。

道路交通法の改正により「自転車」が車両扱いとなり、使用者の責任もこれまでとは比較にならないほど大きくなりました。しかし、生徒の意識にはまだ十分に浸透していないのが現状です。

事故等で被害に遭わないよう日頃から交通安全に留意することはもちろんですが、自分の不注意で歩行者とぶつかるなど加害者にならないためにも、「安全意識」を高く持つ必要があります。

また事故に遭った際に「すべきこと」を頭に入れておくことも大切です。特に、人はパニックに陥ると適切な判断を誤ります。日頃から交通安全意識とともに事故等の対処法も頭に入れておかなければなりません。

All for one, and one for all.　No.14

H29. 4.21　「公開授業」

この日は土曜日ですが、平日と振り替え、保護者対象の「公開授業」を実施しました。特に新入生の保護者の皆様にとっては、お子様の新たな高校生活がどのように始まっているのか気になるところかと思います。

授業は基本的に毎日公開していますが、平日はなかなか学校に足を運んでもらうのが難しいようです。そこで、本校ではＰＴＡ総会など保護者の皆様に来校していただく機会に、「全クラス一斉の公開授業」を重ねました。土曜日ということもあり、多くの保護者の皆様に授業を参観いただくことができました。

授業内容や進度を知っていただくとともに、習熟度指導、少人数指導、ティームティーチングといった単位制ならではの授業形態、アクティブラーニングなどの手法等もご覧いただけたことと思います。高校の授業は高度になるだけでなく、学ぶべき量もまた一段と増えます。予習や復習が不可欠であることもご理解いただけたのではないでしょうか。

今後も気軽に授業参観ができる機会を工夫してまいります。

All for one, and one for all.　No.15

H29. 4.21　「ＰＴＡ総会」

年に１度の「ＰＴＡ総会」が１００名以上の保護者出席のもと開催されました。会に先立ち、新たに着任した教職員を紹介させていただきました。今年度は永嶺高校開設３年目となる大きな節目の年度であります。全ての年次が７クラスとなり、単位制カリキュラムが全年次で適用されます。教職員も最大数となり、いよいよ永嶺高

校としての真価が問われることになります。現在、授業改善や進路指導にも力を入れ、学力も徐々に向上してきています。また、部活動においても殆どの部が全道全国を目指せる実績を築いてきました。

そうした生徒たちの将来を見据え、ＰＴＡ総会では今年度の事業計画、会計項目や生徒経費補助費等の見直し、体育文化後援会の今後の検討、規約の一部改正などについてご審議をいただきました。

今後も保護者の皆様と連携を図り、お子様方の将来について共に考え、共に関わり、誇り高き永嶺生を育んでいきたいと思います。

また役員改選では、新会長に 工藤 瀧也 様が選出され、ＰＴＡ活動の一層の活性化に向けた就任のご挨拶をいただきました。この改選をもって退任された 堀江 裕樹 前会長様、荒川　政彦 前副会長様、河野 昌子 前副会長様、水野 美幸 前監事様には、これまでの多大なるご尽力に心より感謝申し上げます。有り難うございました。

All for one, and one for all.　№16

**＊エイリョウ・アラカルト 「永嶺を語る会」**

ＰＴＡ総会と並行して行われた各クラス代議員による「永嶺を語る会」では、「先輩と後輩が仲良く高校生活を送るために」と「永嶺に望む問題解決に向けて」という二つのテーマについて議論がなされていたようです。

私も生徒の皆さんの言葉を直に聞きたかったのですが、ＰＴＡ総会と重なり、残念ながら終了後に担当教諭からあらましを聞きました。

一つ目の議題では、「先輩と後輩が触れ合うイベントを企画する」「体育祭で縦割りの連合を作る」「学校祭で連合として集まる機会を増やす」、また二つ目の議題では、「ケイタイ・スマホの使用について考える」「永嶺五輪を復活させる」「購買のバリエーションを増やす」などの意見が出たようです。

校風は教職員と生徒が一緒に築いていくものですから、こうした取組は本当に大切だと思います。生徒は主体性を伸ばしながら様々なアイディアを繰り広げていきます。そしてそれがやがて積極的な行動にも繋がっていきます。

今後は、これらの内容をどのように実現させていくか、また派生する問題にはどのようなルール作りが必要か、そして生徒の心を一つにするにはどういう手続きが必要かなどを考えて欲しいと思います。そうした行動からは、今度は責任感や社会性が身についていきます。

高校生には考える機会を数多く持たせること、そして実践させる環境を整えることが大切だと思っています。

来月には「生徒総会」が予定されています。生徒たちの積極的な意見に期待したいものです。

All for one, and one for all.　No.17

## H29. 4.24　「交通安全教室」

今年度の「交通安全教室」は、年度当初で自転車通学者が一気に増えることから、自転車を使った交通事故の実演を交えた講習会を実施しました。

本校グランドを使用し「自転車による模擬事故」を間近に見てもらい、その強い衝撃や悲惨な結末を頭だけなく肌で感じ取ってもらうことが目的です。警察署にもご協力をいただきパトカーを配備していただくなど、本番さながらの実演に生徒もさぞ度肝を抜かれたことと思います。

絶対に交通事故の被害者にならないためにも、常に周囲の状況に気を配り、ルールを遵守し、自己危機管理意識を持って行動して欲しいと思います。また、最近は逆に加害者となるケースも増えてきており、「自転車によるひき逃げ」という言葉をいたるところで耳にします。加害者の場合も被害者とはまた異なる心の大きな痛みを抱えることになります。

道路交通法の改正で「自転車」も車両扱いとなりました。事故原因の多くは、スマホの操作、音楽を聴くためのイヤホン、スピードの出し過ぎ、縦列走行などです。いずれも運転以外に気を取られ、人の飛び出しへの対応が遅れたり、歩行者の次の状況を予測できないことが起因しています。

生徒の多くは日常的に自転車を使用します。決して「自分は大丈夫」などと過信するのではなく、常に安全意識に徹して欲しいものです。

今回の実演を交えた「交通安全教室」は、クミアイ自動車学校と東警察署の皆様のご協力で実現しました。

お忙しい中、本当に有り難うございました。

All for one, and one for all.　No.18

## ＊エイリョウ・アラカルト　「公務員模試・看護模試」

本校では、公務員や看護希望者を対象とした「模擬試験」を定期的に実施しています。市職員、役場職員、警察や消防、医療従事者といった狭き門を突破するためには、早くから受験対策に臨み試験問題等に慣れておくことが肝要です。

２年次になり進路を決めた生徒の皆さんには「公務員模試」や「看護模試」で問題傾向を確認し、必要な知識を早期から身につけてもらえるよう指導しています。そして授業と連動させ、面接練習にも積極的に参加することで、早くから不安を取り除き自信を確固たるものして試験に臨んでもらいます。

また、上級学校入試にも影響する「英語検定」や「漢字検定」も希望者を対象に実施しています。こちらは１年次生でも受けられますので、絶好の資格取得チャンスを逃すことなくどんどんチャレンジしてみましょう！

All for one, and one for all.　No.19

H29. 4.25　「２年次進路講座」

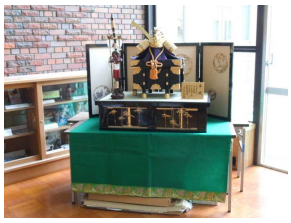
新しい年次になって最初の「進路講座」を実施しました。１年次での漠然とした進路希望をいよいよ具体化していく時期となります。

生徒にはより多くの「進路情報」を提供し、将来を真剣に考える機会を持たせ、個別面談等を通して徐々に絞り込んでいきます。「各種模擬試験」「進路別出前授業」「大学見学」「体験学習」など個々の進路に応じた対策も万全です。

今後は「保護者対象のガイダンス」も予定していますので、是非参加いただき、お子様との話し合いに活用していただければと思っています。

All for one, and one for all.　No.20

＊エイリョウ・アラカルト　「兜、出現！」



毎年この時季になると、生徒ロビーに見事な「兜」が出現します。生徒会に古くから伝わる（寄贈？）伝統的行事のようです。

「端午の節句」と言えば５月５日、別称「菖蒲の節句」とも言われるようです。強い香気で厄を払うため「菖蒲」を軒につるしたり、「菖蒲」湯に入って無病息災を願ったりしたとか・・・。

また、「菖蒲」が「尚武」と同音であったり、「菖蒲」の葉形が「剣」を連想させることから、兜や太刀といった勇ましい飾りつけを行う風習もできたようです。

本校は明日から１日（火）を除き大型連休に入ります。勉学、部活動、趣味とやるべきことは各々でしょうが、いずれにせよ有意義な連休を送ってくれることを願っています。

All for one, and one for all.　No.21

＊エイリョウ・アラカルト　「男子バスケ、春季制覇」

男子バスケット部が２２日から開催された「旭川地区春季バスケットボール大会」で、見事優勝しました。これで、昨年７月のキシイカップに始まり、秋季大会、選手権大会、新人大会、そして今回の春季大会すべてを優勝で飾ったことになります。

残すは高体連制覇！もはや実力は全国級、怪我なくこれまでの練習の成果を存分に発揮し必ずやり遂げて欲しいですね。

また、３年次生の 上田 尚英 君が本大会の「最優秀選手賞」に輝きました。お昼休みに校長室を訪れてくれ話を聞くことができました。

「自分がこの賞をとれたのはチームのみんなのお蔭です。今後は高体連に向け、チーム全体でディフェンスを強化し、メンタルを鍛え、万全な状態で臨みたいです。」と力強く語ってくれました。

さすが「ＭＶＰ」だけあって人物的にも秀でており、話していて気持ちがとても晴れやかになりました。永嶺生の素晴らしさにいつも感動しています。心から応援しています！